

かみくげ  
恐竜の里新聞

平成 25 年 9 月 20 日

発行…上久下恐竜の里づくり協議会

第58号

上久下  
地域づくり  
センター  
0795 78 0001

## 台風18号の被害

各集落につめ跡残す



テーブル・イスが流された広場

9月15日から16日にかけて近畿地方に上陸した、大型台風18号は京都嵐山や福知山地域で甚大な被害を出しました。地元上久下地域では人災こそなかったものの、各集落内のあるところに床上、床下浸水も含め山間部での土砂くずれや水害のつめ跡を残しました。被害にあわれた方々には心からお見舞いを申し上げます。



削り取られた護岸

公共の施設も台風18号の直撃を受けました。川代公園内バーベキュー広場(写真上)は土台の部分を残し、テーブル、イスなどが完全に流され、また元氣村かみくげ駐車場南側護岸(写真下)も削られ、駐車場フェンスが何とか残る程度に幅10メートルの土砂くずれが発生し、立ち入れなくなっています。これら2施設については市や県の土木事務所を通じて早期修復を要望しています。2004年の23号台風と同等の2013年の18号台風は今後も一定の周期でやってくるものと想定して、事前の防災対策が必要になってきます。地域としても防災面に更に気を配りたいところです。

## 恐竜頭部アート完成披露

元氣村かみくげは9月10日、恐竜頭部のアートの完成披露の会を開きました。お披露目の会には制作者の京都造形芸術大学の関本徹生教授や市・県の関係者、地元協議会代表者ら、20名が参加して行われました。

肉食恐竜、ティラノサウルスと丹波竜脚類の頭部をかたどった造形芸術作品で、関本教授がゼミの学生と一緒に制作され、京都のデパートで展示されていたものを、丹波市立薬草園公園(和田)の管理運営会社がい取りました。この度、不要となったため、上久下地区に寄贈されることになりました。2体とも高さ1.8メートル、幅4.5メートルの大型で、かなりの破損があったことから9月の初め、5日間の修復作業の後、元氣村施設のふれあい館(多目的展示室)に設置しました。

多目的展示室には化石発掘体験で発見された化石類や丹波竜の発見部位、肋骨のレプリカ、記録写真、こども教本などが展示されていますが、今回の造形アートを初めて見た小学生は「入口を入って大きい恐竜の頭があつてびっくりした。こんな大きい恐竜がここに住んでいたのを聞いてさらにおどろいた」と目をぱちくりさせていました。元氣村村長の土田芳章さんは「化石発掘体験で出てきたものを展示するのいいが、何の説明もなくても一目みて恐竜のすごさを感じてもらえるだけでも効果は大きい」と今後の活用に期待をかけていました。

上久下小学校PTAしんけんトーク  
&コンサートの案内

日時 10月25日(金) 14:20より

場所 上久下小学校体育館

内容 酒井雅和さん(全盲の元中学校教諭)のトーク

ベル演奏(ティンカーベル)

上久下地区のみなさん、是非ともご参加ください

## 10月の予定

◆10月11日(金) 里づくり協議会例会 午後7時30分

◆10月14日(祭・月) 第18回ふれあい映画会 地域づくりセンター 午後7時30分

◆10月25日(金) 自治会会長会 午後7時30分



## 平成たんば塾を開催 上久下小16人が参加

上久下自治協議会は平成25年度「平成たんば塾」を7月29日から8月1日までの4日間、地域づくりセンターで開講しました。同塾は平成23年より、子どもたちの夏休みの宿題を手伝ったり、学習の習慣をつけるため、毎年行っています。

たんば塾では午前中2時間あまり、保護者や地元役員の監督のもとで、それぞれ自由勉強したり、「上久下今昔物語」として地域内の有識者により上久下の先輩たちの成し得た歴史上の功績を分かり安く解説してもらったり、「人と自然の博物館」の先生を招いて上久下の山や川がいつごろどうして出来たのかを解説してもらい、同席していた保護者からも「いい話を聞かせてもらった。子どもたち以上に私にも勉強になった」と感想が寄せられました。



## 上久下夏まつり総おどり大会 元気村かみくげ



第2回上久下夏まつり総おどり大会が8月11日(日)元気村かみくげ広場に地元から200人あまりが参加して行われました。各自自治会がそれぞれテント内で出店する思い思いの食べ物、飲み物販売には地域住民や帰省中の家族連れで賑わっていました。中央のやぐらでは盆踊り曲が次ぎつぎに流れ、大人や子供が一緒になって踊りの輪を作っていました。

来年度には丹波竜の里計画に基づいて元気村施設の入口付近にふれあい広場が建設される運びとなっており、来年の夏まつりは新しい施設を使つての祭りとなる予定です。今年度中に造成工事にかかり、新年度から着工する予定です。新しい施設には子どもたちが遊べる広場として等身大丹波竜やいろんな恐竜のミニメントなどのほか、恐竜のお腹で遊べる滑り台などが計画されています。

## 夏休み手づくり工作教室

丹波竜化石発見7周年を記念して、8月22日(木)、地域づくりセンター多目的ホールにおいて子どもたち向け「夏休み手づくり工作教室」が親子130人の参加で行われました。

当日イベントは毎年8月、読売新聞豊岡支局が後援しているもので、今年は「ベクトル」を使った「サイクロンクリーナー」に親子が熱心に取り組んでしました。この様子は読売新聞大阪本社からやってきた「号外車」で即時記事にして「号外」を発行し、参加者も受け取っていました。氷上町から参加した3年生の児童は「難しかった。お父さんに大分手伝ってもらってやっと完成したが、自分の部屋の掃除に使いたい」と出来上がった作品を大事そうにかかえていました。



## 上久下小PTAだより



9月22日(日)、素晴らしい秋晴れのもと、上久下小学校の運動会が行われました。PTA演技は、「3人4脚+α(アルファ)」と題して、3人4脚で前へ進み、途中で風船を割るという内容でした。たくさんの方にご参加をいただき、爽やかな汗を流すことができました。笑顔で楽しく演技していただき、あちこちから笑や歓声が聞こえてきました。お互いの絆がより深まった瞬間でした。